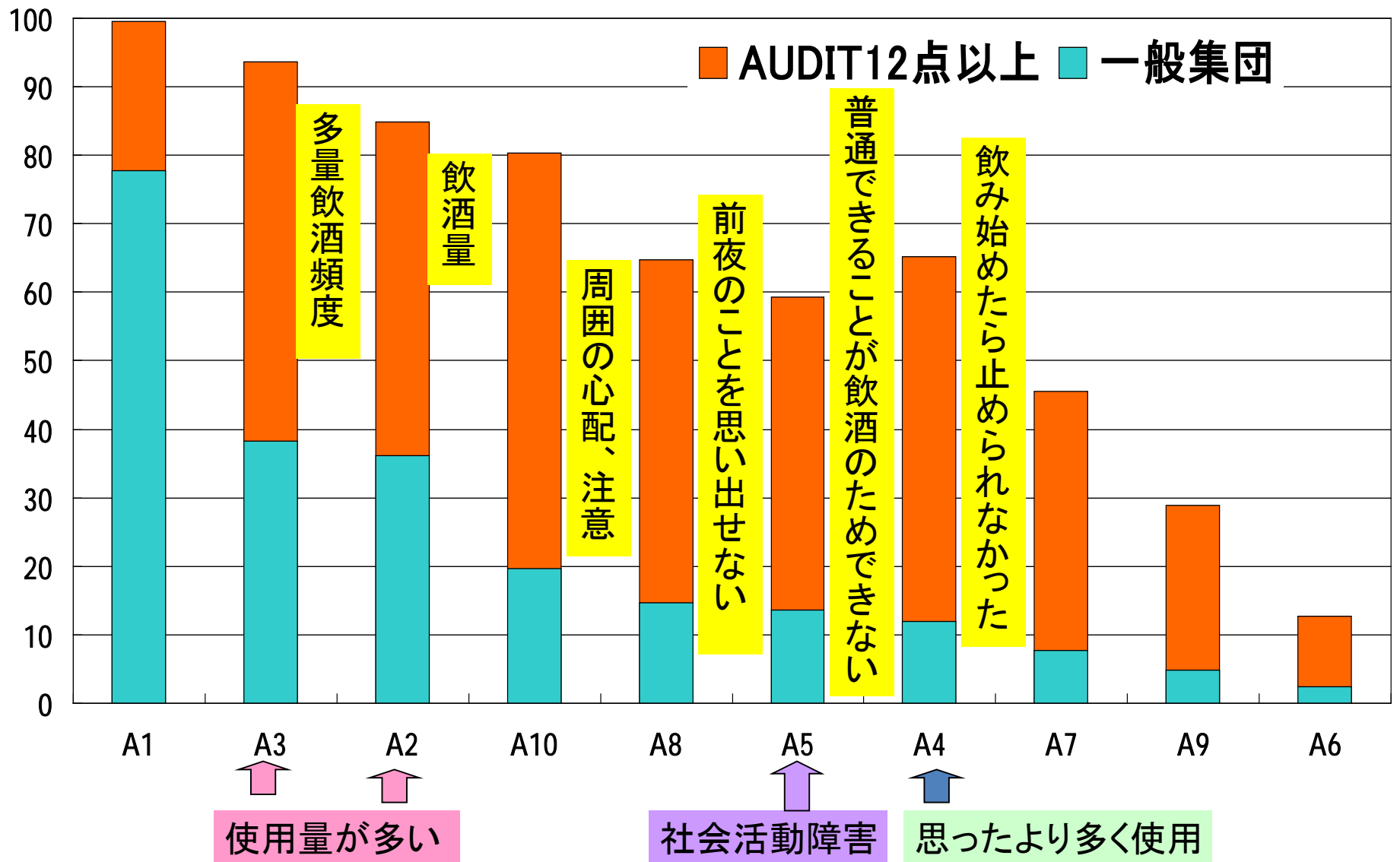


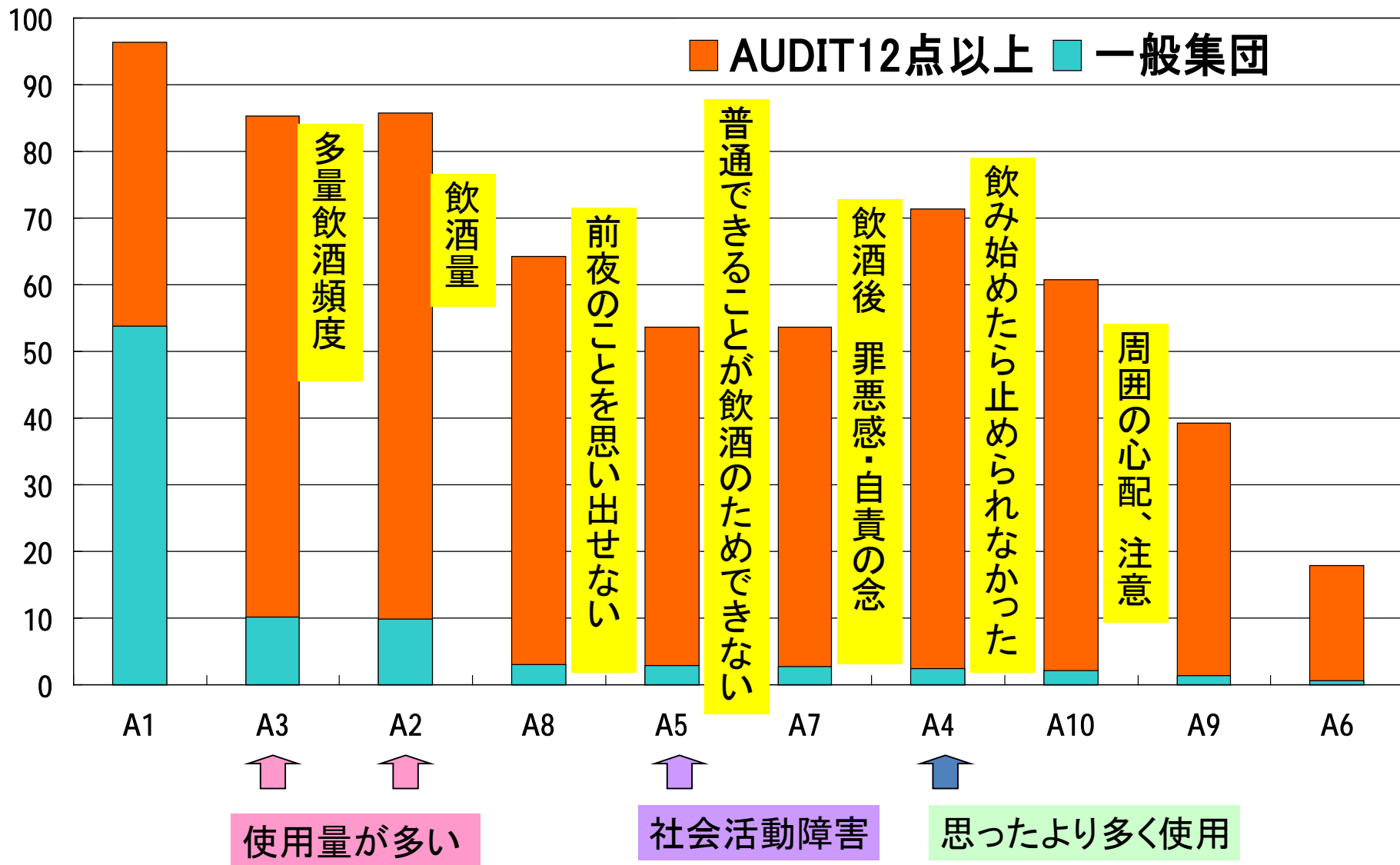
様々な基準によるアルコール使用障害の推計数

2013 調査 (基準人口 2013/10/1)				医療機関受診 (%)	健康診査受診 (%)
	男性	女性	計	この1年間	
AUDIT ≥12点	516万 (10.2%)	77万 (1.4%)	593万 (5.3%)	63.2%	75.0%
AUDIT ≥15点	256万 (5.1%)	36万 (0.7%)	292万 (2.6%)	64.6%	71.7%
AUDIT ≥20点	101万 (2.0%)	11万 (0.2%)	112万 (1.0%)	71.4%	71.4%
生涯アルコール依存(ICD-10)	94万 (1.9%)	13万 (0.2%)	107万 (1.0%)	84.1%	65.9%
現在アルコール依存 (ICD-10)	50万 (1.0%)	7万 (0.1%)	57万 (0.5%)	82.6%	69.6%
危険飲酒 (男40g/日、女20g/日)	726万 (14.4%)	310万 (5.6%)	1,036万 (9.6%)	63.0%	76.8%
機会大量飲酒 (1回60g、週1回以上)	607万 (12.0%)	121万 (2.2%)	728万 (6.4%)	55.7%	78.5%

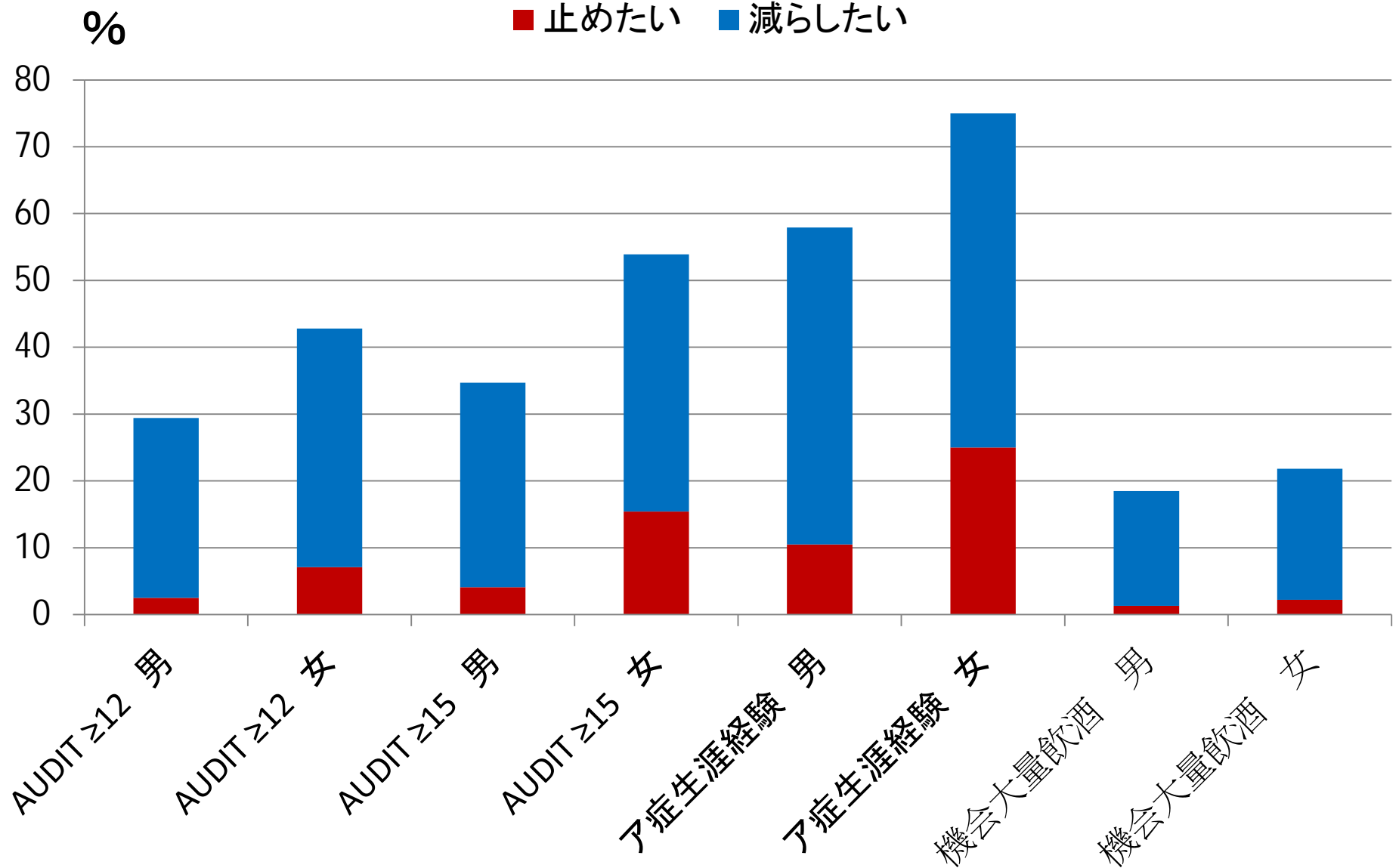
AUDIT項目別の1点以上の割合(男性)



AUDIT項目別の1点以上の割合(女性)



問題飲酒者のうち酒を減らしたり止めたりしたい人の割合 (2013)



飲み過ぎは4兆円の損...たばこといい勝負？

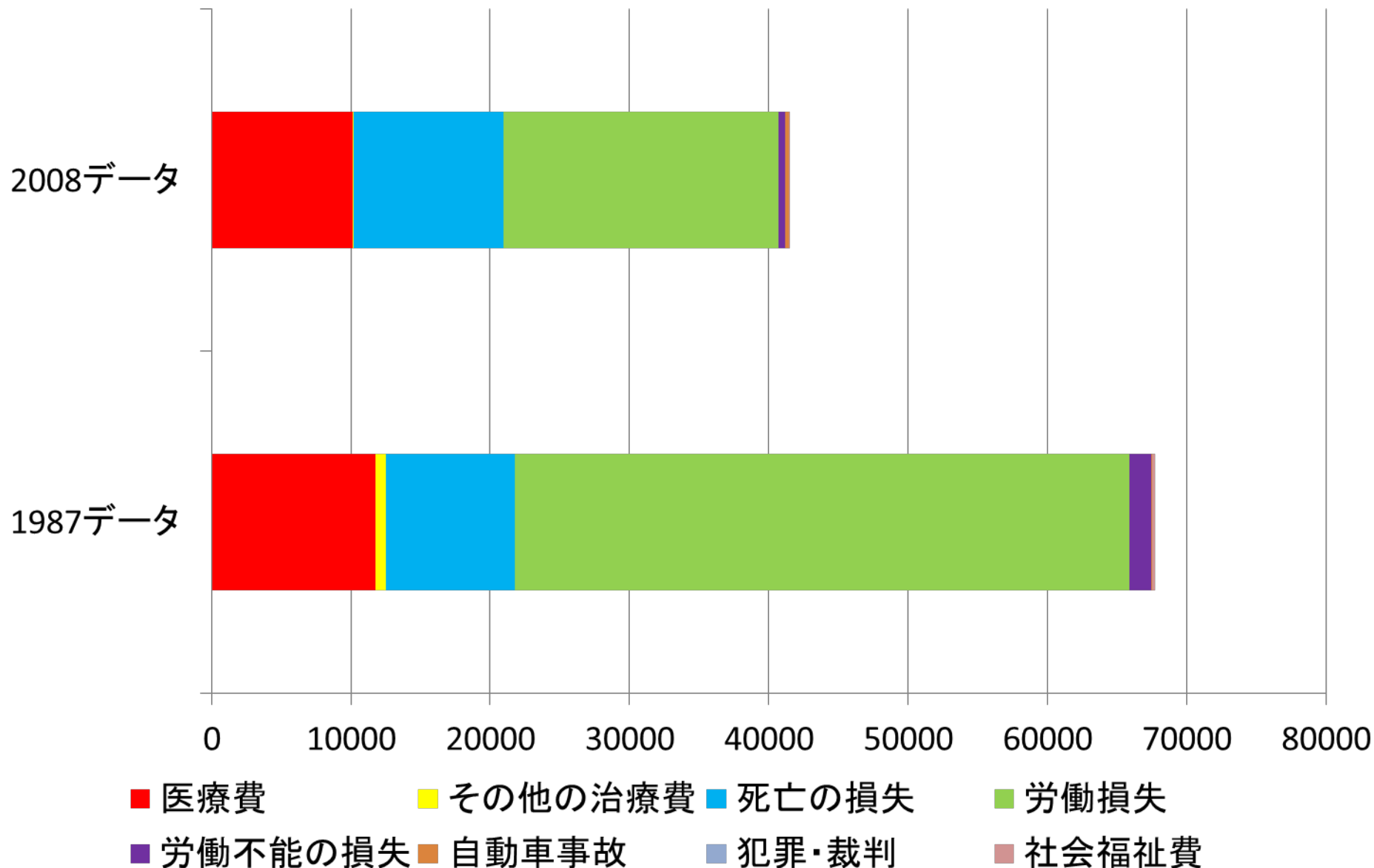
[読売新聞](#)2月9日(木)1時38分

アルコールの飲み過ぎによる社会的損失が年間4兆1483億円に達することが、厚生労働省研究班の推計でわかった。

研究班の尾崎米厚(おさきよねあつ)・鳥取大准教授(環境予防医学)からは、肝硬変の40%、浴槽での溺死の34%などがアルコールに起因するとする米国の研究を参考に、2008年の人口動態統計や患者調査のデータで推計。飲み過ぎで、脳卒中、がんなどの病気やけがの患者が計24万6000人、死者が3万5000人増えたとした。治療に1兆226億円かかり、69歳まで生きた場合に受け取れた賃金1兆762億円を失ったと見積もった。研究班の調査で、働いている人でも男性の5.9%、女性の1.7%が「人間関係にひびが入った」「二日酔いで仕事を休む」などの飲酒による問題を抱えていた。こうした問題で労働生産性が21%低下するとの研究があり、損失は1兆9700億円になった。さらに、飲酒交通事故なども考慮。総額は、たばこの社会的な損失(5兆~7兆円)にほぼ匹敵した。

社会的損失の推計額の推移

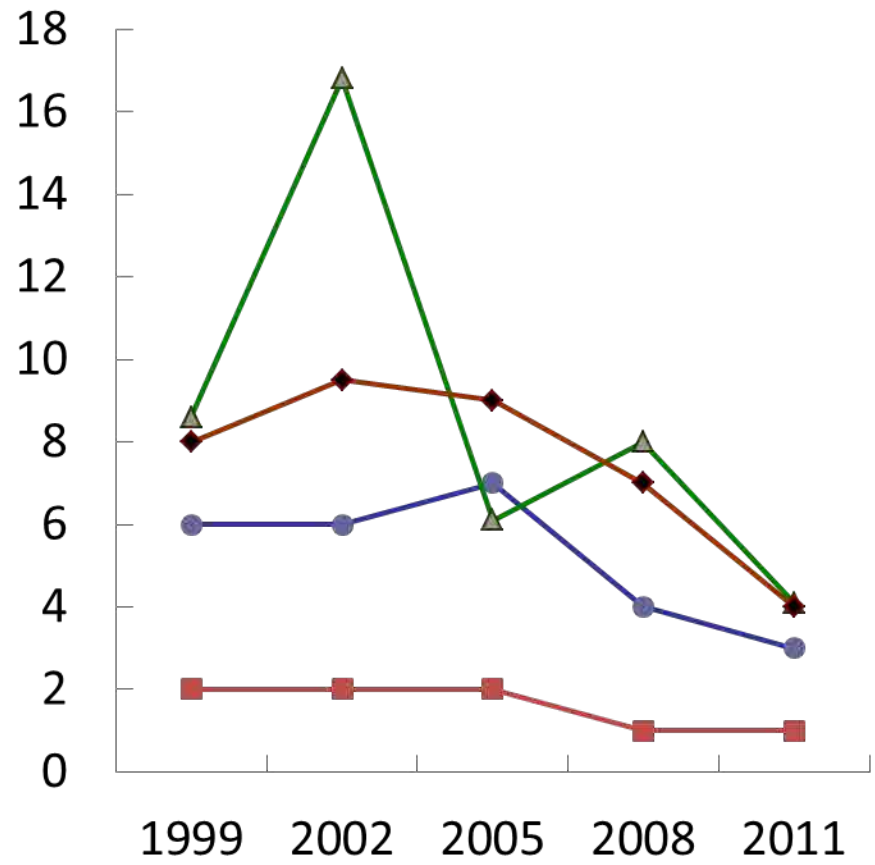
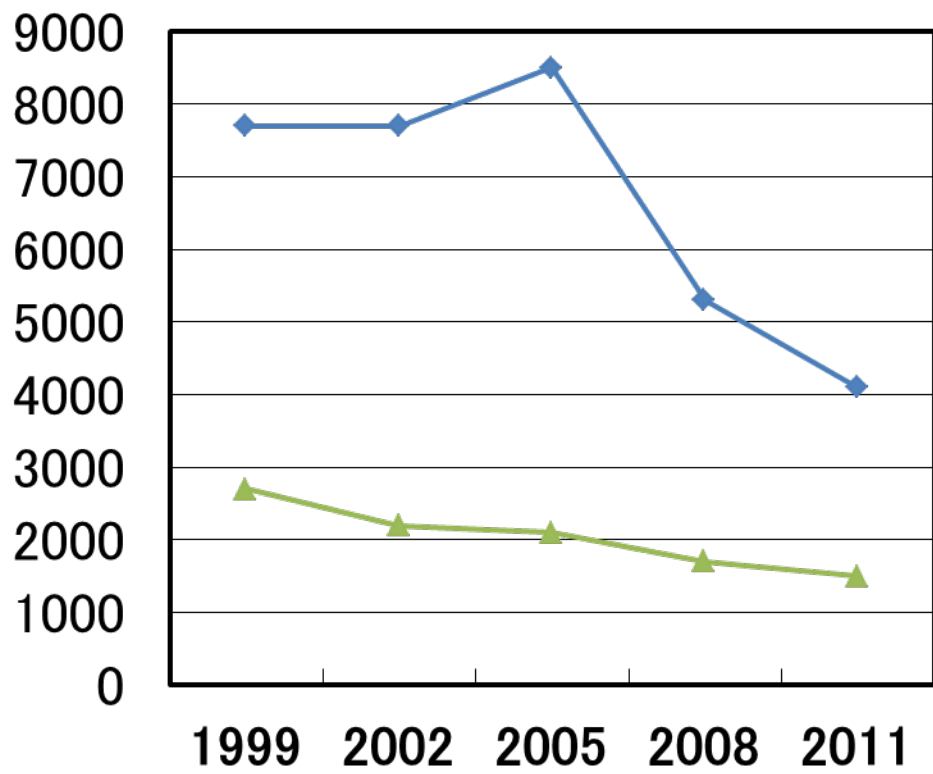
(単位 億円)



推計患者数と受療率の推移(患者調査)

◆ 肝疾患 外来 ▲ 肝疾患 入院

● 外来受療率 ■ 入院受療率
▲ 外来数男女比 ◆ 入院数男女比



2011年は石巻医療圏、気仙沼医療圏(宮城)、福島県を除いた数値

飲酒運転の生涯経験率（運転経験ないものを除く 2008全国調査）

